



第21-G11号

2021年10月29日

小田急グループの旅行業強化に向けた推進体制再編のお知らせ
— 2022年春にオンライン中心の販売チャネルへ移行します —

小田急電鉄株式会社
株式会社小田急トラベル

小田急グループでは、アフターコロナを見据えた旅行業強化のため、2022年4月から小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）を事業主体とする新たな運営体制による旅行商品の造成、販売を行いますのでお知らせします。

小田急グループでは、本年4月に新経営ビジョン「UPDATE 小田急」を策定し、沿線をはじめ事業を展開する地域とともに成長する「地域価値創造型企業」に向けた取り組みを推進しています。なかでも、重点分野の一つに「観光×経験」を掲げ、沿線にある国内有数の観光地「箱根」「江の島・鎌倉」「大山」の多様な魅力の提案による新規需要開拓と、地域の特色を活かした新たな観光体験の創出に、小田急電鉄が主体的に取り組んでいます。

今後は、主な販売チャネルを店舗からオンラインへとシフト[※]し、旅行商品の企画から造成、販売までを小田急電鉄が主体となって行います。株式会社小田急トラベル（本社：東京都渋谷区 社長：佐々木 文信）は、小田急電鉄の旅行業者代理業者として一部店舗等における旅行商品の販売や、これまでのノウハウを活かした旅行業のサポートと情報発信を担います。これにより、地域や行政と連携した商品造成を強化することで、お客さまへ提案する価値を高めてまいります。また、旅行商品は、箱根などの沿線に特化して交流人口を創出する役割を強化することに加え、小田急電鉄公式サイトや観光情報サイト「箱根ナビ」における提案の強化など利便性向上を図ってまいります。

さらに2023年春には、より機能を強化した新たなオンラインサイトを開設する予定です。宿泊・交通・着地型観光などをお客さまが自由に組み合わせて購入できる「ダイナミックパッケージ」の機能を付加します。また、小田急グループが推進する MaaS 機能と連携し、これまでにない新たな旅行スタイルの提案も行ってまいります。

※ 小田急トラベルの店舗営業について

現在、小田急トラベルが運営する4店舗のうち、箱根旅行専門店「はこね旅市場」は営業を継続し、小田急トラベル旅行プラザ新宿西口店・旅行プラザ町田店・旅行サロン代々木店の3店舗は2022年2月末に営業を終了する予定です。なお、小田急グループとして、団体・法人営業の機能は継続します。

以上